

## 日本発ドイツ便り : Burg の街

2時間の運河巡りの後は、バスで、Spreewaldの小さな街、Burgへ。

そこで約2時間の自由時間です。到着前にバスの運転手さん（兼ガイドさん）が美味しいレストラン、アイスクリーム屋さんを案内してくれました。この日の気温は35度。まさにアイス日よりです。



ちなみに、この赤い「A」のマークはドイツでは薬局（Apotheke:アポテーケ）の印です。



街の中心、といっても教会があって、レストラン兼ホテルがいくつか、あとスーパーマーケットとパン屋さん、お肉屋さん、アイスクリーム屋さん、以上。という感じののどかな街でした。



まずアイスクリーム屋さんへ。評判通り美味しいアイスクリームでした。Spreewald名産のキュウリのアイスを試してみるべきだったのではないかと今でも少し後悔しています。

アイスクリーム片手にちょっとその辺を探検。笑ったのがこの看板。☺



なんとお医者さんの看板。Zum Arzt (Arzt : アルツトはお医者さんのこと)です。  
できればこんな風には運び込まれたくないもんです。

もうちょっと歩いて行くと、観光案内所がありました。「Berlin からここまで電車でどのくらい？」の問いに、観光案内所のお姉さんは、苦い顔しながら、「それはとっても難しい！ Cottbus まで電車で行って、そこからバスじゃないと！」と。なかなか簡単に来られる場所ではなさそうですね。(同じ Spreewald でも Lübben や Lübenau といった比較的大きな街なら電車で簡単にたどり着けるそうです。)

その先には何もなさそうだったので、レストランに戻ります。教会の真ん前のこの地域では有名なホテルのレストラン。テラスの席が空いていたので、当然そこに座ります。



メニューを検討しながら、この地域のビールを飲んでみました。黒ビールですが、甘みがあって、慣れるまでは、一口ごとに首をかしげる、ちょっと不思議な味のビールでした。(慣れてくると美味しいです)メニューを見る前は、Spreewald の魚料理とか、郷土料理とか食べてみようかなあ。と思っていたのですが、「本日のお勧め」にこの文字を見た瞬間注文の料理が決定！

「Pfifferlinge」(ピッファリングゲ : アンズタケ) 7-9 月位が旬の、ドイツで一番好まれるキノコです。昨年、このキノコに目覚めてしまいました。(春のシュパーゲル同様に、見ればつい注文してしまいます)なかなか日本人には難しい発音ですね。つづりの中にfが多すぎますよね。☺  
注文するときは(ちょっと発音練習はしておいて)「ピ」の部分にアクセントをおいて、はっきりと「ピッファリングゲ」と発音してみてください。



Pfifferlinge は味も香りも強いキノコなので、シンプルにソテーして、卵と一緒に食べるのが一般的です。  
（あとはクリーム煮とか）Spreewald の街で食べた Pfifferlinge は、これまで食べたどれより新鮮で香りも良く、「この森で採れるのかなあ」と想像しながら頂きました。



Spreewald には昔からスラブの人がたくさん住んでいて、今でもスラブ語が話されているようです。  
なので、交通標識とかは、ドイツ語+スラブ語で表記されているんですよ。

あとはバスで集合して、ベルリンまで。畑に草原の風景から、だんだんビルが増えてきて、ベルリンの大都会に帰ってきました。途中、旧東ベルリンのテンペルホーフ空港（今は使っていません）、2011 年秋開港予定のブランデンブルク空港の建築現場（旧シェーネフェルド空港の場所）もバスの窓から見てきました。

ベルリンはまだまだ成長中です。

ベルリンから 1.5 時間で大自然の中へ！ Spreewald でした。